

本学における新型コロナウイルス感染症予防対策等の対応について

大項目	中項目	小項目	実施事項	担当部署等	詳細	5/8以降の対応	備考	
学内	生活	感染予防対策	方針検討	危機管理室	「静岡福祉大学 新型コロナウイルス感染防止に向けた対応指針」を作成（2022/11/7から危機レベル2）	廃止する。ただし、実習用の対応指針は作成する。	これまで、国、静岡県の対応に沿ってレベルを変更してきた。	
			方針対応	危機管理室	危機管理室の設置	廃止する。危機管理委員会が役目を引き継ぐ。	事務局は総務課となる。	
			連絡経路	危機管理室	新型コロナウイルス感染症発生時の学生・教職員 フローチャート（連絡対応経路）	廃止する。ただし、実習は個別での対応となる。		
			集団接種の案内	危機管理室	ワクチンの集団接種の案内とりまとめ	取りまとめはしない。個別接種を推奨する。		
			備蓄品	衛生委員会（健康推進課）・総務課	マスク、アルコール消毒液、フェイスシールド、除菌シート、ペーパータオル、石鹸、抗原検査キット、サランラップ（パソコンキーボードを覆う）など	一部継続	詳細については、今後、衛生委員会で検討する。	
			健康観察表	衛生委員会（健康推進課）	教職員・学生に対し感染予防対策として推奨していた	継続利用できるようにする。	書式を一部変更する。	
			関係部署への情報共有	健康推進課・危機管理室	健康推進課がとりまとめた学生、職員の濃厚接触、陽性者に関する情報を、危機管理室、所属学科長、学生支援課長、教務課長にメールをする。職員については本部へも連絡していた。	原則廃止	適宜、必要に応じて連絡する。	
			教職員への情報共有	危機管理室	学内の陽性者人数を、教職員へメールで伝達	廃止		
			学生への周知	危機管理室・学生支援課	学生へ、学内の陽性者人数をメールで伝達	廃止		
			学生への注意喚起	学生支援委員会	長期休暇前に学生へ注意喚起文（長期休暇の過ごし方）を送る	継続	作成担当は、学生支援課。	
			学外周知	危機管理室	本学ホームページへ1週間の感染者発生数を掲載	廃止		
			情報公開	危機管理室	ホームページに新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について（まとめ）掲載、感染者の発生、対応指針のレベル変更を掲載	継続		
			来校者対応	総務課	来校者へ管理棟受付での消毒、検温、受付簿への記入	継続		
			イベント許可申請書	危機管理室	イベント開催にあたり、感染予防対策を提出してもらい、クラスターを防ぐため。	廃止	感染症予防対策を講じることを継続したうえで開催する。	
			イベント開催の人数、行動制限	危機管理室	収容人数の制限、行動を一方通行にする	廃止		
			オープンキャンパスの開催	危機管理室	収容人数100名。	廃止	オープンキャンパスの内容に応じて、臨機応変に対応する。 イベント終了後の消毒作業は廃止（4/23より適用）。 対面の場合には、換気の確保（換気扇稼働、窓開け等）に留意すること。	
			各種会議	危機管理室	時間短縮、人数制限あり。連絡会議はメールで。	人数制限なし。対面、Zoomどちらでもよい。		
			情報収集	静岡県内の感染者数	危機管理室	静岡県内の一日ごとの感染者数の把握。1週間前の人数と比較し増減を見る。	廃止	
				コロナ関連の情報メール管理	危機管理室	文科省、静岡県大学課等より送られてくるコロナ関連のメールをデータとファイリングで保管。	継続	担当は危機管理委員会の事務局（総務課）。
			環境整備	啓発・学内掲示物	総務課・健康推進課	新しい生活様式を啓発するための掲示等	継続	
				事務室等	各部署	事務室の亚克力板、地域連携推進センターの亚克力板、各実習指導センターの亚克力板	R5年度前期は継続	換気の確保（換気扇稼働、窓開け等）に留意する。
				教室、廊下等	健康推進課	アルコール消毒液・アルコールウェットティッシュ	継続	
				食堂、学生ホール	総務課	座席、亚克力板等	R5年度前期は継続	換気の確保。「黙食」の必要はないが、大声、飛沫の飛び交う会話は控えるように注意を促す。
学生対応	事務室、実習指導C、地域交流Cの学生対応	各事務部の担当部署		カウンターに飛沫防止用ビニールカーテン設置。	継続			
学生支援	授業以外の学内生活に関する学生対応	学生支援委員会	学内放送等による注意喚起を検討中。学生会メンバーに打診中（渡邊学生部長）。6/50Kの返事あり。	廃止				
学生支援	要配慮者への対応	学生サポートセンター	さまざまな障がいを抱える学生への配慮方法を検討（基礎疾患があり、面接授業が困難な学生に関する配慮を含む）	継続	合理的配慮にて個別対応する。			
学生支援	サークル活動	学生支援委員会	軽音サークルの歌唱、演劇サークルの演劇中は、マスク着用	廃止	換気、消毒、検温に留意する			
図書館	感染予防対策	図書館	カウンター飛沫防止幕、閲覧テーブル・椅子の一定間隔	継続				
	利用制限	図書館	利用者の制限、利用時間の制限	廃止				
授業	ルーティーン	チェックリストの作成	教務委員会	授業におけるチェックポイントを配付し、各教員が学生とともに3密に注意する。教室収容定員2/3。	授業におけるチェックポイント：廃止 教室収容定員2/3：R5年度前期は継続	換気の確保（換気扇稼働、窓開け等）に留意する。		
		欠席対応	濃厚接触者、陽性者用の届出	教務委員会、健康推進課	コロナ用の届出が複数あり。	廃止	現行のインフルエンザの届出様式を汎用的に利用できるように修正する（作成担当：学生支援課）	
		演習、実習等	面接授業の方法	各委員会等	社会福祉演習実習委員会、精神保健福祉実習委員会等が示した授業方法でOK	廃止		
		実習	実習におけるコロナ対応	各実習センター	実習機関、実習生に対して通知するコロナ対応に関する文書の作成	継続	R5年度版をすでに作成済み。	
		演習（介護）	ベッド等の消毒作業	介護福祉実習委員会	授業後に必ずベッドやシーツを消毒していた。	委員会で検討し決定する	介護福祉実習委員会で検討すること。	
		演習（ピアノ）	ピアノレッスン	子ども学科	ピアノレッスンの場所、練習室の使用	R5年度前期は継続	後期から徐々に元に戻す。	
		演習（歌唱等）	歌唱等	子ども学科、教務委員会	授業内（卒業研究発表会、歌唱授業）での演劇、歌唱時は、マスクを着用	廃止	換気、消毒、検温に留意する	
その他	情報公開	取組内容の公表	公表する内容の検討	危機管理室	上記内容が決定したところで、HP、メール等を利用して教職員、学生等に公表する	継続	適宜、必要に応じて公表する。	
	補正予算	コロナ対策経費	執行可否	総務課	当面、既定経費対応。真に必要なものは購入するも、当初予算の経費節減に努める。	廃止	特に予算措置はない。	